

第49回 春日部市立桜川小学校 卒業証書授与式 式辞

桜っ子の「晴れ舞台」を祝うように、桜川小のシンボルである桜が今にもほころびそうな今日のおき日、春日部市教育委員会 瀬高 武夫 様、春日部市議会議員 榛野 博 様をはじめ、たくさんの御来賓の方々・保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業証書授与式を挙行できますことに、感謝を申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの凛々しい表情からは、小学校課程を終えた喜びと、中学校生活への希望を感じます。この1年間、皆さんは、桜川小のリーダーとして、ハッピー桜っ子タイムや、通学班、クラブ、委員会活動で、下級生を支え、優しく接するなど、おき手本となってくれました。久しぶりに紅白対抗で行った運動会をはじめ、様々な学校行事が大成功を治めたのも、「つなぐ」を合言葉に、リーダーシップを発揮してくれた皆さんのおかげです。そんな皆さんの姿はとても立派で、下級生の「憧れ」であり、私の「誇り」です。本当にありがとうございました。

今日、この桜川小を巣立つ皆さんへの最後のメッセージとして、私が子供の頃から大好きな漫画「ドラえもん」に出てくる、のび太君についての話をします。

皆さんは「のび太君」にどんなイメージをもっていますか？ 勉強ではテストで0点ばかり。スポーツも苦手で、ジャイアンやスネ夫からもからかわれる。パパやママ、担任の先生からは怒られてばかり。「ダメダメな男の子」というイメージかもしれません。でも、ドラえもんの作品をよく読んだり、映画を見たりすると、実は、のび太君は、とても幸せな人生を歩んでいるのではないかと思うことがあります。

長編映画の大冒険では、時にドラえもんが代わって、リーダーシップややさしさを発揮し、誰も解決できなかった問題を解決していきます。どんなにのろまでも、ジャイアンやスネ夫からはいつも声をかけられ、気にかけています。失敗ばかりでも、勉強が苦手でも、ドラえもんと心を通わせることで、人として大切な「思いやり」の心を育みながら、明るく前向きに毎日をおくしています。そして、何よりの幸せは、のび太君は、念願である「しずかちゃんとの結婚」を果たすことです。

皆さんに、そんなのび太君から学んでほしいこと、それは、「目標から今の自分をみつめる」ということです。のび太君は、時々、タイムマシンなどを使って、未来の自分を見ます。こんなにだらしのない自分が本当にしずかちゃんと結婚できるのかと不安になった時には、妻になりさらに素敵になった未来のしずかちゃんと、その夫となった未来の自分を見に行きます。そして、のび太君は「今のままの僕じゃだめだ、しずかちゃんにふさわしい人になろう」と決心し、行動します。ここで重要なことは、のび太君と同じように、目標を達成した自分から逆算して、今、何をすべきかを考えることです。そして、行動に移すことです。のび太君は、それを繰り返すことで、失敗しながらも成長し、幸せな人生を歩むことができているのだと思います。

小学校卒業という「節目」を迎えた皆さんですが、人生はまだまだこれからです。困難に出会ったり、悩んだりすることもあるでしょう。そんな時こそ、心の中のタイムマシンで、目標を叶えた自分を想像し、そのために今何をすべきかを考え、行動しましょう。そして、一步一步成長し、のび太君のように、人として一番大切な「思いやり」の心を持ち、幸せな人生を歩んでほしい。桜川小学校は、いつまでも、皆さんの未来を応援しています。

結びに、保護者の皆様におかれましては、深い愛情をもって、大切に育ててこられたお子様が無事、6か年の小学校過程を終え、こんなにも立派な姿で今日の日を迎えられましたことに、感慨もひとしおのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。また、ご来賓並びに地域の皆様におかれましては、桜っ子の成長を温かく見守り、ご支援くださいまして、ありがとうございました。改めまして、心より感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらない、卒業生への激励とご支援を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和6年3月21日 春日部市立桜川小学校長 小野 誠